

大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.37)

◎ PCB廃棄物の処理状況について（操業開始～平成26年3月31日）

| 処理状況 対象物 | ※処理実績（登録台数比率） 廃棄物個体完了ベース | |
|-------------|--------------------------|--------------|
| | 近畿2府4県【総数】 | 大阪市【内数】 |
| トランス類 | 2,191台（67%） | 1,073台（82%） |
| コンデンサ類 | 46,690台（68%） | 11,313台（89%） |
| PCB油類 | 1,045本（58%） | 473本（87%） |

※大型のPCB廃棄物は分割前の台数、また、登録台数は平成26年3月31日現在の台数で集計しています。

◎ PCB廃棄物処理事業検討委員会及び大阪事業部会の開催について



大阪事業部会の様子

2月5日、ホテルグランヴィア大阪で第22回PCB廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会（JESCO主催、主査：酒井伸一 京都大学環境科学センター長）を開催しました。

今回は、「大阪PCB廃棄物処理事業の操業状況」、「内部技術評価」、「今後のPCB廃棄物の処理促進策」等について報告しました。各委員から、トラブル内容や真空加熱処理室等の作業環境改善対策、作業員の健康管理、今後の処理促進策について専門的な意見をいただきました。これらのご意見を踏まえて課題に取り組み、安全・確実な処

理事業を進めてまいります。

また、3月31日、ホテルアジュール竹芝（東京）でPCB廃棄物処理事業検討委員会（JESCO主催、委員長：永田勝也 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授）を開催し、全国5事業所の処理状況等について報告しました。

◎ 大阪PCB廃棄物処理事業監視部会の開催について

2月24日、大阪市環境局会議室において平成25年度第2回大阪PCB廃棄物処理事業監視部会（主催：近畿ブロック産業廃棄物処理対策推進協議会〈構成：近畿2府4県13政令市〉）が開催されました。

弊社から「大阪PCB廃棄物処理事業の進捗」について説明を行い、有識者の方々から、運転廃棄物の処理状況と今後の処理計画や真空加熱処理室の作業環境の改善、労働災害などについて貴重な意見、アドバイスをいただきました。

また、大阪市から「環境モニタリング調査」の結果について特に問題がないことの報告がありました。環境省から



監視部会の様子

は「PCB廃棄物処理基本計画の見直し」について、基本計画の変更に係る地域間移動の課題や処理促進策の説明等がありました。有識者の方々からは、地域間移動における運搬ルートのお考え、災害対策（津波、浸水対策）やPCB廃棄物処理促進策における保管者の掘り起し等についての質問・意見がありました。

◎ 労働災害について

1月21日、西棟1階の小型解体室で転倒による災害が発生しました。

被災者は、横型バンドソー（裁断機）によるトランスの裁断作業を監視中に次の作業物を見ようとして振り向いた際、バランスを崩して転倒し、右足の小指付け根部分を骨折したものです。

作業場はPCB取扱区域の中で最も管理の厳しいレベル3区域で、化学防護服、全面型防毒マスク、化学防護長靴を着用していましたので、視界が狭くまた動きにくかったことが転倒の原因と考えられます。また、化学防護長靴は一般の作業靴と比較すると甲の部分に隙間があり、振り向いた際に靴底が床面から離れていなかったことも考えられます。

再発防止策として、個人に支給している化学防護長靴のサイズを再確認し、ちょうど良い長靴を使用することや、レベル3区域内の段差部分には注意を喚起するため危険表示の黄色と黒色の縞模様のテープを貼付する等の対策を実施しました。



【横型バンドソーを監視している状況】



【転倒時を再現】

◎ 周辺環境モニタリング調査及び排出源モニタリング調査の結果について

大阪事業所では、施設周辺（事業所敷地内と周辺（南側）の2箇所）の大気中のPCB、ダイオキシン類の濃度を年4回測定しています。平成25年度の測定結果はいずれも環境基準値等を下回っていました。

| 項目(単位) 環境基準等 | PCB (μg/m ³) | | ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³) | |
|-----------------|--------------------------|---------|----------------------------------|-------|
| | 0.5 μg/m ³ | | 0.6 pg-TEQ/m ³ | |
| 場所 | 敷地内 | 周辺 | 敷地内 | 周辺 |
| 春 | 0.0013 | 0.00055 | 0.13 | 0.045 |
| 夏 | 0.00074 | 0.00056 | 0.016 | 0.015 |
| 秋 | 0.00048 | 0.00040 | 0.018 | 0.019 |
| 冬 | 0.00022 | 0.00016 | 0.014 | 0.017 |



事業所敷地内での測定の様子
(写真はエアサンプラー)

また、平成25年12月に実施した施設からの排気、排水中のPCB、ダイオキシン類等のモニタリング調査でも、全ての場所における測定値が自主管理目標値等を下回っていました。

なお、以上の測定は全て外部の計量証明事業所による分析の結果です。

◎ 施設見学の状況について

当施設への見学者は、操業開始以来、平成26年3月31日現在で9,284名（1,236団体）となっています。平成26年1月から3月の見学者数は、自治体設備技術職員の団体の方々85名をはじめ企業・自治体の方々等計118名（8団体）でした。

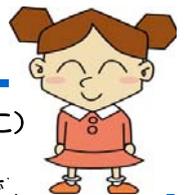
☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

弊社のホームページを参照または総務課へご連絡下さい。

- ・自由見学・西棟1階情報公開ルーム（月～金曜日の午前10時から午後4時まで）
- ・予約見学・西棟1階情報公開ルーム、見学者ホールなど
毎週火、木曜日（午前10時から・午後2時から）

【問い合わせ】 日本環境安全事業（株）大阪事業所
TEL：06-6468-0575

舞子（まいこ）



洲男（しまお）



【発行】

日本環境安全事業株式会社 大阪事業所

総務課／安全対策課／運転管理課 06-6468-0575

営業課（弁天事務所）

06-6575-5575



べん蔵（べんぞう）